

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス フレンズ常総大沢		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 6日		2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年1 月 6日		2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日常生活、社会生活が異なる学校、学年のこども達との交流の中で、思いやり、ルールの大切さ、コミュニケーション能力を身に付けていく。	事業所に帰ってくるころから、挨拶・手洗い・うがい・連絡帳提出・自分で準備しての学習等々の流れの中でのルールを守って過ごす。他利用者と一緒に過ごす中でみんなに迷惑を掛けない行いを支援する。	
2	日常生活・イベント・活動や遊びを通して、自分の意志で選択出来る体験をし、事故決定力を高めていく。	活動をする際のグループ作り、順番を決める、やるものを選ぶ等々、自分で考え意思を伝え、他の人の事も考え決定する体験をする。	
3	体力づくり,続けて最後までやり遂げる力がつくようにする。金銭感覚を身に付ける体験。	休日利用の日にラジオ体操を初め、楽しみながらの体操をする。散歩や、公園へ行く。活動の中にダンスを入れて体を動かす。(子供たちの好きな曲や運動をリクエストしてもらいながら) お買い物学習を設け、選ぶ、支払うの練習をする。	繰り返して体験を重ねていく為に、計画を立てる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内が分かれている為、自由時間等、死角ができてしまうことがある。	スタッフの目が届くよう声かけなどをして気を付けて支援にあたっている。	総務部で求人を出し、対応していただいている。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 フレンズ常総大沢

公表日 2026年 3月 10日

利用児童数 27

回収数 23

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	21	1		1	・活動している様子をあまり見たことがないので、よく分かりません。	ご見学のご希望があれば、お問い合わせください。	
	2	15	6		2	・活動している様子をあまり見たことがないので、よく分かりません。 ・退職される方のお知らせは、お手紙などで知りますが新しく入った方のお手紙がないので、職員さんが減ったままなのか？と感じています。	新しく入った時には、送迎の際などにご挨拶させていただいておりますが、お会いできない保護者様もいるかとお思いますのでお知らせを検討いたします。	
	3	18	3		1	・活動している様子をあまり見たことがないので、よく分かりません。	ご見学のご希望があれば、お問い合わせください。	
	4	20	1		2	・活動している様子をあまり見たことがないので、よく分かりません。	ご見学のご希望があれば、お問い合わせください。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	22			1		利用者様それぞれの個性を考慮し、社内で日々の様子を話し合い支援させていただいております。	
	6	22	1				支援プログラムをもとに支援をさせていただいている。	
	7	22						
	8	22	1				利用者様、保護者様のニーズを考慮し、社内で日々の様子を話し合い計画を作成させていただいております。	
	9	22						
	10	21				2		毎月スタッフ全員でアイデアを出して固定化されないよう工夫をしている。また、保護者様の要望や、苦手としていることにもチャレンジできるような活動も取り入れております。
	11	11	3	2	7			検討してまいります。
保 護 者 へ	12	23					契約時に説明させていただいております。	
	13	20	3					
	14	10	4	4	5		検討してまいります。	
	15	21	2			・1度位ありました。 ・職員さんによって、伝えてくれる方もいれば、挨拶だけの方がいる感じがします。	送迎の時にその日の様子をお伝えする機会が多く、時間も限られますが出来る限り職員間で共有しお伝えさせていただきます。	
	16	17	5	1			検討してまいります。	
	17	20	2		1	・職員のみなさまには、いつも良くいただいております。	嬉しいお言葉ありがとうございます。今後も保護者様に共感していただけるよう支援させていただきます。	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	9	6	6	家族への支援があればいいと思います。	保護者様達の交流の機会を、本社にも問い合わせをし、検討していけたらと思っています。何か困りごと等ありましたらいつでもお問い合わせいただけたらと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21		1	1		保護者様からの相談事がありましたら、速やかにスタッフ間で共有・検討してご返答させていただいております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	2				利用者様や保護者様、個々に合わせた説明や対話を心掛けております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	1	2		ホームページには自己評価表の結果やSNSへのリンクが掲載されており、その他イベントや外出活動等のお知らせは、LINEでのお知らせを活用させていただいております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1				個人情報の扱いには細心の注意を払ってまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	4		2		緊急マニュアル等はSNSに掲載しておりますので、ご確認お願いいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	2		4		子どもたちと共に年2回、避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	2		3		子どもたちが安全に支援を受けられるよう日々考えて対応しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22			1		事故等、小さな怪我等でも発生した際には、状況に応じて直ぐか、帰りの送迎時でもよいかの判断をし連絡、状況説明をしております。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				・帰りの送迎車に、ずっと手をのびて見送っている姿を良く見えています。とても楽しく通所しているのだと感じ、職員さんたちに対しても信頼していると思っています。	嬉しいお言葉、ありがとうございます。これからも利用者様に「楽しい」と思ってもらえるような、そして信頼していただけるようなフレンズでの支援、過ごし方を精一杯考えていきたいと思っております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23				・利用日、イベントのある日をとても楽しみにしています。 ・いつも楽しみにしながら通っています。	フレンズの利用を楽しみとさせていただき、とても嬉しく思っております。これからも楽しみにしていただけるようなイベント、活動を考えてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1			・いつもありがとうございます。	嬉しいお言葉、ありがとうございます。これからも保護者様に信頼していただけるよう、スタッフみんなで話し合い、考え、利用者様の為に支援をさせていただきます。さらなる支援に繋がるよう、何か気になることがありましたらいつでも遠慮なくご連絡ください。これからもよろしくお願いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	フレンズ常総大沢		公表日 2026年 3月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動の内容や余暇時間の過ごし方によって、使える部屋が分かれている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	2	建物の構造上、死角が多くなりやすい。そのためスタッフが少なくとも1人は居るようにし、自由に動けるスタッフは各部屋を見るようにしている。	法廷的には足りているが、設備上見えにくい場所がある為、スタッフが増えるよう求人を出している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	室内に2段の階段があるが、手すりや必要な時には移動式のスロープを設置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	座っての活動がメインの部屋と、体を動かす活動がメインの部屋に分けることで活動をしやすいとしている。	設備的に古く清潔に保つためには改修が必要だと思う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		他利用者の姿が見えないように仕切りを付けた部屋が用意されている。カーテンで入り口をふさぎ替える部屋や、必要に応じて扉の閉まる部屋がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		時間を作るのが難しく定期的に出来ていないため、今後は時間を作っていければと思う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者からの評価表は、スタッフで確認し業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		不定期ではあるが、意見を伝える時間を設けてもらっている。仕事の合間に意見をスタッフ間で話し合い改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		社の方針に従う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		会社全体でオンラインによる研修を定期的に行っている。会社で行う研修以外でも、個人でも研修や講習会に参加している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページに公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		アセスメントシートや、送迎時を利用し保護者と子どものニーズを把握できるようにし、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		スタッフは支援会議に参加し利用者の支援方法などを共通理解できるようにしている。子どもの支援内容についてスタッフの意見を聞き検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		スタッフはだれでも閲覧できるようにしており、計画に沿った支援ができるようにしている。個別支援計画書をスタッフ全員に確認していただき支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	フォーマルなアセスメントツールなどは使用したことがないため、今後取り入れていければ良いと思う。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		5領域全てを含めた支援計画を作成し、それをもとに具体的な支援内容が設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎月支援にかかわるスタッフ全員で案を出し、話し合っ決めていく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		スタッフ全員がアイデアを出して固定化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個人で取り組む学習や、全員で行う活動など、利用者様の状況をスタッフ皆で話し合い計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	必ずではないが必要に応じて打ち合わせをしている。	今後は、時間を作り毎日できるようにしていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	同上	同上
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		全スタッフが記録に携われるようにし、確認作業も行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的に児発管、相談員、保護者様との支援会議を行っている。利用者様に気になることがあった場合には、その都度スタッフや相談員、保護者様と話し合いをし、見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		「4つの基本活動」を組み合わせ計画を立て、それをもとに支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動だけでなく日々の生活にも【小さな選択】ができる機会をつくり、自己決定する力が育つよう支援している。子どもが自分で考え決める場面を大切にしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		子どもの状況をよく理解した者が参画できるようにするだけでなく、事前にスタッフ間で話し合いもしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	医療関係は保護者から情報を得て共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		保護者を通して情報を共有している。送迎時間の変更等は、事前に学校から連絡がある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	相談支援員から情報を得ていて、直接他施設とはとっていない。	今まで機会がなかったため情報共有などはなかったが、今後少しずつ情報共有できていけたらよい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	情報を当事業所から書面などで提供したことはないが、事業所内の様子などはできる限り詳しく相談員に伝えている。	同上
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	必要に応じて情報を共有している。	同上
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	現在は行っていない。	同上
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	連絡会等には参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や電話、LINEなどを利用し状況の把握に努めている。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	家族に対しての支援はより慎重性が必要。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行い、疑問があればいつでもお答えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者様には事業所内での支援会議をともに、個別支援計画のモニタリングを見ていただき書面等にて子ども、保護者様の意向を確認させていただいている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者様からの相談等があった場合には、スタッフ全員で共有し、話し合い対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3	本部にも相談しながら検討していけたらと考えています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		保護者様のご意見に対し、直ぐに社内でも話し合い検討している。苦情相談窓口については重要事項説明書に詳しく記載してあるので、契約の時に説明させていただいている。	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の取扱いには十分留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		帰りの送迎時や連絡帳、電話等を使い個々に合わせてお伝えしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	近隣の畑を借りて、サツマイモやジャガイモの植え方を農家の方に直接子ども達が教えてもらい、収穫まで体験したりした。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		事業所内にマニュアルを提示し、スタッフ内で周知している。保護者様にはフレンズのSNSでご覧いただけるようになっている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	利用者様と共に、年2回、避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		てんかん等はフェースシートで確認。服薬や予防接種等は必要に応じ連絡帳に記載してくれている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		保護者からの情報により共有対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			安全管理についての研修や、共有がさらに必要。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			常に利用者様の安全を考えて行動、周知。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		スタッフ内で考えられる事例と対策を話し合っている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止の研修に参加している。参加できなかったスタッフには後日映像を見たり、資料を閲覧できるようにしている。	引き続き研修を重ね常に全員の意識付けをしていく。	

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	身体拘束を行った事例はないが、必要な場合については、保護者様のご了承のもと、支援計画を作成し支援を行っていく。	
----	--	---	---	--